小型で低価格、中規模農家向け豚舎洗浄ロボットが誕生 一つらい洗浄作業を大幅に省力化一

- 日本の養豚業者の多くを占める中規模養豚農家の狭い豚舎通路でも自動作業が可能なコンパクトな肥育豚舎用・分娩豚舎用の国産ロボットを開発。
- 大きな外国製よりも安価で能力は同等。
- 人手による過酷な豚舎洗浄作業が約3割以下に削減。



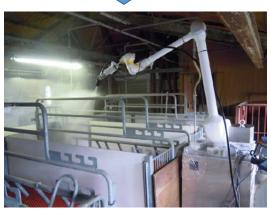
糞尿が飛散する過酷な環境下での手作業 による豚舎の洗浄(肥育豚舎)





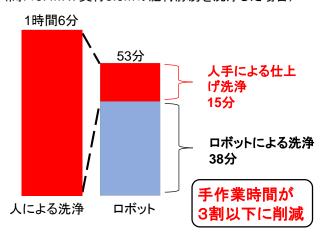
肥育豚舎用ロボット





分娩豚舎用ロボット アームの関節が多く、分娩ストールの洗浄といった複雑な動きが可能。

開発機(肥育豚舎用)と手洗浄による作業時間の比較 (間口5.4mx 奥行3.6mの肥育豚房を洗浄した場合)



導入により期待される効果

ふん尿が飛散する過酷な環境下での豚舎の洗浄のうち、ロボットが大部分の作業を担い、人が仕上げ洗いを行う徹底した洗浄・消毒により、疾病リスクの低減に期待。

連絡先

農研機構 農業技術革新工学研究センター 研究推進部 広報推進室